

保護者各位

～文化厚生通信～

《今年度のテーマ；親子で共に学び、輝こう！》

第三回 家庭教育学級ご報告

平成29年12月5日
世田谷区立尾山台小学校
校長 渡部 理枝
P T A 会長 高野 雄太
文化厚生委員長 齊田 麗奈

11月22日に第三回家庭教育学級として、ヴァイオリニストの竜馬さんをお迎えして『夢を実現させる』をテーマにしたトーク&ライブを開催致しました。世田谷区教育委員会社会教育指導員の藤本仁先生をはじめ、校長先生、副校長先生、40名以上の保護者の皆様にご参加いただきました。

まず即興演奏から始まり、ピアニストの真島智史さんとの演奏でオリジナル曲『大地』、そして『ハナミズキ』『カントリー・ロード』が、熱のこもった素敵な音色で続きました。その後、どうしたら夢を実現できるのかを中心に、ご自身の生き立ちやターニングポイントなどを交え、惜しみなく貴重なお話をしてくださいました。

～竜馬さんのお話より抜粋～

十五歳のとき、野球とバイオリンどちらの道に進むか迷い、高校受験をせずに1年間浪人をして考えました。そのとき考えたのは「どこの高校に行くか」ではなく、野球のプロになるか、音楽のプロになるか、そのための段階としてどこの高校に行ったら良いか…もっと先を見ていました。

「夢を叶える」の叶という字は口と十と書きますが、口で十回唱えるくらい声に出して言うことは大切だと思います。言うことによって周りの人に理解と協力をしてもらえ、また、自分もなっていく気がするからです。

子どもには沢山の可能性があります。色々な経験をすることで感性は広がり、色々な人の話を聞くことで、こんな仕事がある、どんなことがやれるんだとわかり、そこから好きなものを見つけて、夢に変えていくことができます。「いつ、どこで、誰のために、何をするのか」具体的に考えることがとても大切です。大きな夢だけでは途中でくじけてしまいがちですが、逆算していった小さな目標を作り、達成していくことで、自信に繋がり、夢をたぐり寄せることができます。

競争はつきものですが、足の引っ張り合いではなく、いいライバルや仲間と皆で切磋琢磨して上がっていく感覚が大切です。

音楽家として良い演奏ができるのは当然のことですが、良い音を出すためにはその前に人間性、どんな生き方をするかが大事だと思っています。

～質疑応答より抜粋～

Q. 浪人をしていたとき、親子でどのくらい会話をしていましたか？

A. 毎日家にいてイライラしていることも多かったのですが、仕事から帰ってきた母が今日はこうだったよとか、僕は毎日料理をしていたので、「美味しいね」からスタートして、毎日会話はしていました。

Q. 練習量について。

A. 「こんな音を出したい」と考えるのは心と頭です。心を豊かにしないと理想は高まらず、色々な経験をしないと心が豊かにはならない。練習ばかりしていたら色々な経験はできない。「こんな音を出したいのに技術が足りない」と思ったときには、練習する必要があると思います。

Q. お母様は竜馬さんにどんな助言、接し方をされておりましたか？

A. 母はプロの演奏家になる道は知らなかったと思うけれど、喧嘩をしながらも意見交換はしていました。人と話すことでわかることもあるし、自分のために真正面からぶつかってくれている人には、どこかで気付きます。親はわからないなりに、一緒に考えることが大切だと思います。



『フラワーバレンタイン』では、心に染みるような音楽に、涙を流す人が続出！客席を回りながら演奏していただきました。

アンコール！1人1音、参加者3人が選んだ「ミ」「ラ」「レ」をモチーフに、テーマ「夢」で即興演奏！お二人の息もピッタリです...！！



～アンケートより抜粋～

☆熱い気持ちを持って活動されている竜馬さんの演奏はとてもパワフルで心に響きました。子どもにも、是非トーク&ライブを見て欲しいです。

☆お話も音楽もとても良かったです！子どもにも帰って話します！

☆自分の子どもにも、自信を持って頑張れる環境を作ってあげたいと思いました。

☆私にしかできない子育てをしようと思いました。

☆気を楽に、夢は具体的に、というお話が心に残りました。

☆自分も子どもも心の豊かさを大切にしていきたいと気付かされました。

今回をもちまして、今年度の家庭教育学級は閉級となります。沢山の方にご協力いただきましたことを感謝申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。